

株式会社北日本ジェー・シー・エム サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026年1月26日

株式会社北洋銀行
南郷通支店

1. 基本情報

企業名	株式会社 北日本ジェー・シー・エム	
代表者名	櫻井 篤行	
所在地	札幌市白石区流通センター4丁目1番7号	
資本金	2,000万円	
従業員	16名 (2026年1月現在)	
業種	遊技機販売	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">エンターテインメント事業部 (回胴式遊技機及びパチンコ機の販売、金銭登録機・硬貨・紙幣計数及び処理機器、識別機、両替機、カード販売機等金融関連機器の販売及び修理)再生可能エネルギー事業部 (地球再生可能エネルギーによる発電及び電力の販売)環境事業部	
沿革	平成4年4月	事務機器及びレジスター、金庫の販売を目的として資本金1,000万円で設立
	平成4年5月	北海道公安委員会、古物商の資格を取得
	平成5年7月	現在の代表取締役、櫻井篤行氏に代表者変更。同時にパチンコ・パチスロ部門を定款に追加
	平成8年9月	遊技機販売業者として登録
	平成9年6月	北海道遊技機商業協同組合 加盟
	平成10年11月	メダル補給設備工事の拡大に伴い、営業部と業務部を分離。人員を拡充
	平成11年7月	株式会社サンパワーと代理店契約を結ぶ(現 株式会社ユニバーサルエンターテインメント)
	平成12年7月	情報通信機器と関連業務を定款に追加。自社ホームページを開設
	平成12年11月	社団法人日本遊技機関連事業協会加盟
	平成14年11月	事業拡大のため、札幌市白石区流通センターに本社移転
	平成16年4月	遊技機の中古機販売システム「GET!UP」スタート
	平成18年7月	業務拡張のため資本金を2,000万円にする
	平成19年4月	回胴式遊技機商業協同組合加盟

2. 経営理念

経営理念

Friendly to the earth

株式会社北日本ジェー・シー・エムは、1992年の設立以来、一貫して「お客様と考え、気づき、行動を共にすること」をスローガンとし、それらの取り組みを「サポート」という言葉に込め、事業活動におけるテーマとしてきた。21世紀における当社の使命は、この「サポート」の精神を顧客への配慮だけでなく、自然環境にも配慮した事業活動として「Friendly to the earth」へと昇華させることにある。当社は、遊技機の一次代理店としての強固な事業基盤を、再生可能エネルギー事業や環境衛生事業にも繋げ、持続可能な地域社会の構築をリードすることを目指している。

3. 事業の特徴とサステナビリティへの取り組み

当社は、以下の3つの領域で環境・社会と調和した事業活動を行っている。

(1) エンターテインメント事業部

当社は、大手遊技機メーカーである株式会社ユニバーサルエンターテインメントの一次代理店として、パチンコ・パチスロなどの遊技機の流通を担っている。当社では、新台の販売だけでなく、中古遊技機流通システム「GET!UP」を通じた中古遊戯機の取り扱いも推進し、省資源や廃棄物の抑制に寄与している。また、最新の「i クリアシステム」等の電子決済・省エネ設備の普及を進めることで、業界全体の消費電力削減と資源保護にも貢献している。

(2) 再生可能エネルギー事業部

当社は、北海道内13箇所にて太陽光発電所を運営し、再生可能エネルギーを創出している。創出する電力は、年間約130万kWh(一般住宅約280軒分)にのぼり、脱炭素社会の実現に不可欠な再生可能エネルギーの安定供給を担っている。また、2026年2月からは「FINE FLEX」の販売代理店として、厚さ3mm・超軽量薄型ソーラーパネルの販売を予定している。垂直壁面への施工が可能な同商品の特性を活かし、従来の土地活用型から都市部のビル壁面や荷重制限のある屋根を活用した「都市型エネルギー創出」へとパラダイムシフトを目指している。

(3) 環境事業部

当社は、シャープ株式会社とJCMシステムズ株式会社が共同開発した「大空間向けプラズマクラスター」の施工を行っている。この施工では、天井カセット型空調やダクト等への複雑な工事が必要となるが、全員が施工資格を持つ技術チーム(16名)により、地域の憩いの場であるパチンコホールの衛生環境の改善に寄与し、感染症に強い遊技場の実現に貢献している。

当社は、30年を超える業歴の中で培った信頼と、従業員全員が空調施工の有資格者という厚い人的資本を強みとしている。今後の事業活動では、この信頼と人的資本をベースに、2026年2月から本格稼働する新事業部による「3mm薄型パネルを活用した壁面発電」の取り組みを強力に推進していく考えである。これは「ゼロカーボン北海道」を目指す北海道の方針にも整合するものである。今後は、環境価値を創出する事業者として、当社の事業プロセスにより生じる環境負荷を可視化する観点から、温室効果ガスの可視化と削減にも取り組んでいく考えである。

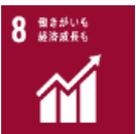
4. サステナビリティ目標

株式会社北日本ジェー・シー・エムの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社北日本ジェー・シー・エムの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社北日本ジェー・シー・エムのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重要課題	脱炭素社会への貢献
目標・KPI	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連するSDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重要課題	人的資本経営の推進
目標・KPI	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連するSDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。